二十六日　夕刊

磐城毎日新聞

□本紙一ヶ月 金六十錢
□郵稅 金十五錢
□一部賣 金三錢
□廣告料一行 金六十錢
□雜報欄 金九十錢
□場所指定一行 金一圓增
□電話（平）七八六番
□振替口座東京一〇八・五六五
福島縣平市田町十六番地
發行所 磐城毎日新聞社
發行編輯兼印刷人 森合英

たとへ極めて古いものでも明日の日本が背負はなければならない任務を遂行する上に必要なものは眞体制である（淸水芳太郎）

閼伽井凮

意用は好いか

關内正一

歐州の天地は戰雲愈々濃く、一方支那事變は目下繼續中であり複雜なる國際狀勢の變化はいついかなる事件が突發するか全く豫測出來ぬ　本日の警防記念日を迎ふるあたり一般市民に警告したい事はこの急迫せる時局を充分認識して、いつ敵機の襲來を受けても好いだけの準備は好いかといふ事である。防空訓練は訓練のための訓練ではない。たとへば折角作つた防火用の水槽は平生水を滿たして置いてこそ萬一の場合に役立つので訓練の折だけに使用するなら不經濟この上なしである。廢品回收なども好い事ではあるが火災が物資を奪ひ去る量から見れば知れたものである。

次に團員に申し上げたい事は先頃三炭礦の自營團の査閱を見ての自分の感想である。彼等は長時間の査閱中笑ひ聲一つ私語一つせず査閱官の言が　陛下の事に及ぶと何れも姿勢を正して謹聽してゐた　自營團と警防團とは組織は違ふがあの緊張振りは是非團員に學んで貰ひたい

尙此際特に一言したい事は中流以上の家庭の者にはともすれば警防團員となる事を忌避する態度に出る者があるといふ事である。忠勇なる皇軍が身命を賭して前線で戰つてゐるのに大切な銃後の勤めの一つである警防團員たる事を忌避するは言語道断である。

最後に一般市民にお願ひする事は、七百人の警防團員は三萬市民のために挺身して防火防空の仕事に從事してゐるのであるから團員に對しては尊敬と感謝の念を忘れず、また萬一の場合は三萬市民各自が團員であるといふ覺悟を平常から持つてゐてほしいといふことである。

改正借家法に就て

辯護士　大嶺庫

（三）

賃貸借の更新拒絕は期間の定めてない場合の解約の申入については前述した期間さへ守れば賃貸借は終了するのかと申せばさうではないのであつてその拒絕なり解約の申入が有效となるが爲めにはそれが正當の事由について爲された事を要件として居るのである、即ち正當の事由に基つかない拒絕又は解約の申入であつては期間を遵守したからと云つてもその效力は生じないのである。改正された部分としては、此點が一番大き改革でゐるのである。

改正借家法によれば

建物ノ賃貸人ハ自ラ使用スルコトヲ必要トスル場合其の他正當ノ事由アル場合ニ非サレハ賃貸借の更新ヲ拒ミ又ハ解約ノ申入ヲ爲スコトヲ得ス

と規定されて居る、此點は家主に對する從來許容せられて居た權利の抑制であり反面は借家人に對する救濟であり保護であるのである併し司法當局は改正案の理由として議會で左の通り述べて居る（借地法の改正も同時に提案されたのである）

「この改正案は住宅問題に關する社會不安を拂拭し社會生活の安定を圖らんとするのでありまして善良なる地主家主を抑壓する趣旨を含んでをりませんことは勿論惡質なる借地人借家人を保護するといふ趣旨は些かも含んでをりません。この改正案はどこまでも賃料延滯その他の債務不履行なき借地人、借家人が單なる更新の拒絕又は解約の申入れによりその住居を失ひ日常生活にも差支へを生ずるといふ事實に鑑みこれを調整せんが爲め立案したので御座います社會生活の安定は政府が常に心がけてゐるところでございますが、特に現時の如き戰時下におきまして住宅問題にからまる社會不安はこれをそのまゝ放置するを許さないのでありましてこの改正案は社會不安を除かんとする以外に他意はないのでございます』

映畫のこと

城木伊佐緖

四

最近のものでは「みかへりの塔」が最も傑れてゐた。これは豐島與志雄、熊野隆治の原作を子供を扱つては既に定評のある淸水宏自身でシナリオを書いてゐる。

いゝ映畫と思ふものは槪ね監督の自作シナリオのものか監督と映畫會社シナリオ作者との合作シナリオのものが多い。

この映畫は夫々變つた習癖を持つてゐる子供達に集團的精神を植ゑつけ、共同作業に建設の喜びを敎へ樣とする先生の獻身的な敎導、その困苦に重點を置き子供達の善良に立返る過程が刻明に書き出されてゐる。

あゝした人生の惡の方面を描いても少しも醜を感じない所が淸水宏の腕であらう。子供達の動きにも無理がなく奈良眞養の好演技笠智衆の目立たないが嫌味のない演技が好感もてた。

あれを觀た人は恐らく驚きもし、又涕泣もしたことであらうと思ふ　最後の所で「子供の善良さ」に立返つた圖、五人の卒業生を見送る生徒達の歌ふ「螢の光」の合唱が追つて來るやうに聞えて來たが、「あまいなア」と思つた。併し惡くない。「みかへりの塔」の鐘の音が近景の時も遠景の時も同じであつて不自然であつた。（細い所迄神經を働かすべきであらう）親に引きとられた生徒達が、日頃見馴れてゐる塔が遠くなつて來た時にあの鐘の音も遠長く聞えて來るやうにしたならば、更に餘情を含むものとなつたであらうに。

先週「暖流」の配役で大庭秀雄のものだからと云はれたので「花は僞らず」を觀た。シナリオ貧弱であり、演出者も腰が落着いてゐなかつた。演出者が筋のみを追ふことに汲々として、演出者や演技者の藝術活動の廣いゆとりと深い落ちつきなどは到底見られなかつた。舟木（德大寺）純子（水戶光子）の如き意志の不鮮明な近代のインテリ青年男女がゐるであらうか。（純情とのみは解し難い）觀客に胴々廻りをさして結局はもとの所にをさまつたと云ふ話で終つて、城次郞、假名子の結末は蛇足である、高峰三枝子の關西辯なども板についてゐなかつた。結局少しもいゝ所なしと云ひたい

短歌

雨

「不定律短歌」（平）　馬目智夫

ばらの一輪しつとり濡れて孤獨の生活になれた

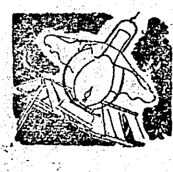
紫に煙る山々眺め　ひとり居の雨の佗びしさ

生ひ繁れるまゝの蔦かづらに雨脚の速く過ぎさり

ぽそ／＼雨脚に窓叩かれて明るい團欒の樂がしみでる

矢車草ゆれて雨の朝部屋の中にしよんぼり

風雲の動きはげしくやさしく雨の表情見える



異人劍法【13】

（禁無斷轉載上演上映）

車谷弘

下山望東畫

二つの道（四）

猫が鼠を追ひ込んだやうなものだ。

しかしえたいの知れぬ覆面の男は、まだ一歩も追窮の手をゆるめようとしない。ぢつとあたりに氣を配つて、靑眼に構へたまゝ、平馬の呼吸をはかつてゐる。いかに焦ればとてもはや身動きの出來ぬ平馬であつた。

その時、そこへ走りかゝつた一挺の駕籠…暗にひらめく白刄を見て

『ひ、ひと殺しつ』

と駕籠かきが叫んだはずみに駕籠が、尻餅をついて投げ出されたが

『騒ぐな』

と駕籠の中で、太い男の聲がした。とたんに激しく搖れてゐる駕籠のたれが、內部からはねあげられて、悠然と坐つた武士が、ギロりとした眼で、おもての闇をすかしてみた。

『待てつ』

秋霜烈日の氣合がこもつて、聲は凜然とひゞきわたつた。

うろたへたのは覆面の男だ。

裂帛の氣合に打たれて、思はずひるむと見えたが、たちまちさつと刀をひいて、一目散に逃げ出した。あつと思ふ間に、その男の姿は闇にまぎれて見えなくなつてゐた。平馬はよろ／＼とよろめいて刀の柄に手をかけたまゝ、がくりと前へくづれてしまつた。全身に流れるやうな汗であつた。

駕籠の武士は、悠然と駕を出て、平馬を抱き起した。

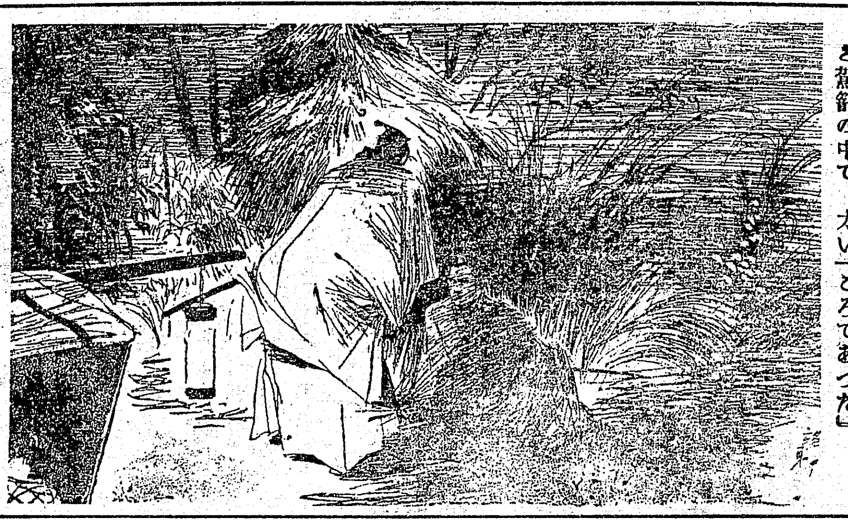
活を入れると平馬の編笠がぐら／＼と搖れた。

『氣がついたか』

『はつ』

と平馬が手をつくと

『人に恨みを受ける者が、そのやうに未熟な腕でどうする。危いところであつた』



『はつ、面目次第もありませぬ』

と平馬は脇の下の汗を拭ひ乍ら肩で大きく息をして、

『名乘りもかけず、いきなり斬りつけられてこの態たらく……』

『あはゝゝゝ』

と武士は豪放に笑つて、

『白晝名乘りをかけて挑まれても、その腕では同じ事だ』

『恐れ入りました』

『それに相手は、今の曲物は、お手前より一枚上だ。人を斬つた經驗のある奴だ』

『えつ、さては……』

と平馬が立ち上らうとすると、

『もう逃げをつたよ。身共の聲を聞いたゞけで、敵はぬと見て、雲を霞と逃げをつた。どうして、なか／＼目先の利く奴よ。あはゝゝゝ』

『殘念です、むざ／＼と兄の敵を……』

『なに敵討か……』

武士は呆れたやうに眼を見はつたが、さも可笑しさうに笑ひ出して

『敵討ではない、敵討たれであらう』

『なにつ』

『まアはやるな、秋の夜風は寒いいづれゆつくり話は聞かう。駕籠屋つ』

『へい』

駕籠かきが、おづ／＼と近づいて來た。武士は平馬を顎でしやくつて

「この若者を駕籠へのせるのだ」

『えつ』

『かまはず、やれつ』

そして、武士はもう暗い川べりの道を、歩き出してゐた。

おでんとヤキトリ
田町末廣トナリ
一柳

肉の御用命は
三二三屋
牛も豚も優良品の自慢
平・大田町電323番

快適な筆觸
ウエル萬年筆
金貳圓より數十種
佐々木のガラスペン
一本金拾錢より
ガラスペン中の第一級品です 一度の御使用が永久の御愛用となる事請合
平市學校坂下
代理店
魁文堂
電話五一二番

新鰹節賣出し
鰹節製造販賣
日本生命平代理店
魚問屋へ
平市四丁一
志賀盛榮商店
電二一二三番

磐城水產工業株式會社
小名濱町築港內　電一四四
日本油脂株式會社
特約店
ペイント類、ボイール油
ドライヤー、防錆塗料
船底塗料、屋根塗料
黑板塗料、
一手販賣

產科、婦人科
醫學博士　五十嵐雄二
平市新川町　電三六九
病室增築、手術室完備

故障の起らぬ
HKD
原口のラヂオ
原口無線電機株式會社製品は商工省選定一級品
MD－8號　徵電界級　(公)¥.73·70
ダイナミツク使用眞空管マツダ　12F 47B 57 58
MS－100號　徵電界級　(公)¥.5 ·60
ラヂオは全部公定價格品です
ラヂオとデンキの店
古山電氣商會
平市二丁目警察署通り
（電呼166）

產婦人科
外科一般
花柳病科
【見習看護婦募集】
小名濱町小學校前　電四五
黑澤醫院
醫學士　黑澤廣

漢方貼り藥
濕布で名藥
生公華
肋膜、氣管支關節、神經痛
肺炎、ロイマチス、扁桃腺炎、ぢ疾に
二圓五十錢　四圓　八圓
專賣店
平市五丁目角
山野邊藥局

割烹
はまや
小名濱公園內
電話百廿番

鳩尾加壓器
みぞおちかあつき
鳩尾を落すこと
一、胃腸は丈夫に動脈硬化が柔ぐ
鳩尾を落すことは千古を貫く保健の秘訣です
二、使つた瞬間からこれは効くぞと判るのが特徵です
製造頒布元…東京林健體本部
頒布所
平市古鍛冶町一〇
阿康藥局
電話四四番

砂利小賣
販賣
◎長橋町三十番地へ貯藏所を設けました。容れ物御持參下されば小量でも小賣り致します、
◎五合以上の御注文は特に運搬も致します
神谷砂利店
平市白銀町　電話六六五番

建築木材ノ御用命ハ
木材、天上板
ベニヤ
建具
木羽、建築材
便利瓦一式
織田材木商店
平市　電話九〇番
製材工場　磐越東線赤井驛前（大作場）電二三五

外科　整形　胃腸　性病
內臟外科　腦脊髓外科　外科
整形外科　レントゲン科　理學療法科
內科　胃腸病科　肛門病科
花柳病科　皮膚病科　泌尿器病科
醫學博士　松村亨
醫學得業士　松村鐵郎
松村醫院
平市南町　電一〇七

磐城のおみやげ品
みやま羊羹
梨羊羹
小川郷驛前
平屋賣店

外科專門
野村外科
手術室完備
小名濱町古港
元津村屋跡

女車掌募集
未經驗者を求む
【經驗者も可・本人御來談乞ふ】
三井自動車商會
平市二丁目　電話685番

だいこくやニュース
梅雨
配給品純綿朱子傘　大人用 3.90　〃 4.50　女學生用 3.10
蛇の目傘　小型文化傘 2.08　極上蛇の目 2.26
防水マント　通學用 6.76　大人用 16.26
レインコート　オイルシルク男 11.00　女 14.30
平市　大黑屋

自動車　助手男　車掌女　急募
求人者　野崎交通自動車株式會社
人員　助手五名　車掌十名
年令　十六才以上二十才未滿
希望者　履歷書持參左記ニ申込ノ事
平國民職業指導所　電五六二番

鐵の代用品で鐵よりズツト性能が優れてゐる薪代が鐵製の半分で濟む木屑でも落栗でも御飯が炊けて毎日の燃料費が五錢も六錢も得をしておいしい御飯が炊ける
◎（主婦之友社生活館推奬）
資源愛護　燃料經濟　廢物利用
特許　久壽竈（クスカマド）
二升炊 [illegible]　三升炊 [illegible]　四升炊 [illegible]
平市一丁目
武田陶器店
電話二二[illegible]

醫院開業（入院室完備）
內科　小兒科　專門
醫學士　石坂銓
平市六丁目交番脇
石坂醫院
午前宅診　午後往診

全市民の夢を破つて
空襲警報發令
無警告開戰に備へる防空演習

獨ソ開戰が全國民へ世界戰爭への緊迫觀を與へてゐる矢先、廿六日未明突如、平市內の大小サイレンが一齊に吹鳴、非常半鐘も響き亘つて全市民の聽耳を驚かし、警防團、家庭防空群等總動員して、全縣最初の無警告防空演習が行なはれた

驟雨中防空群活動
演習解除後無火災祈願

今廿六日の令旨奉戴警防記念日に際し、平警防團では無警告開戰の空襲に備へ、久和署長、闘內團長は極秘裡に計劃を進めてゐたが四時三十分警防團員一同へ非常召集を發し、同五十分演習警戒警報が發せられ、全戶が防空準備を進める暇も無く同五時五十分演習空襲警報發令、全市のサイレン、半鐘は亂打されて數十機の敵爆擊機來襲想定の下に演習は開始され、警防團員や家庭防空群はそれぞれ處定の防護陣に就く

……☆……

空襲警報と同時に十數名の現示班は自轉車で發足、全市百ヶ所に燒夷彈とガス彈を投下、家庭防空群は目醒ましい活動した

……☆……

斯くて市役所へ投下された燒夷彈は、市自衛團、附近防空群協力消火に努めしも、西北風に愈々猛威を加へ田町白銀町方面へ延燒消防部の自動車ポンプは必死の活動し、三丁目、四町目を燒失して五丁目附近で辛くも猛火を喰止め、演習一時間、同六時五十分空襲警報解除のサイレン高く吹鳴、意義ある無警告空襲演習を終了した

……☆……

演習解除後、警防團員、同隊伍を整へ市內行進縣社子鍬倉神社に向ひ、同七時から社前に於て無火災祈願祭執行、鈴木副團長擧式の辭に次ぎ宮城遙拜、祈念し闘內團長令旨奉讀、團員一同無火災祈願、久和署長の訓示講評市長訓示、團長訓示あり、青沼市長の發聲で萬歲奉唱八時解散した

「吾等の心構へ」
治に居て亂を忘れるな
講評…久和署長

獨ソ今次の開戰にも明らかなやうに今後の戰爭は無警告裡に行はれると覺悟を決めて置かねばならぬこの意味に於て今日の令旨奉戴警防記念月を期し、無警告で空襲された場合に處する全市民の心構へを試すため、全國にも未だ例を見ぬ無警告防空演習を開始したものである、演習開始と同時に闘內團長、青沼市長は市民の行動を巡視した處新川町は最も良く、四丁目、新田町、才槌小路、研町等も警戒警報と同時に水漕や砂、火叩き棒など用意して逸早く空襲警報に備へ待機してゐたのには感心させられた、今までの演習は事前に報知して行つた約束演習だつたので警戒警報も一般にピンと來なかつた、然し空襲警報が發せられるに及んで何れも狼狽し、遲蒔きながら全市の家庭防空群が一齊に活動し燒夷彈やガス彈投下に備へたことは流石に縣內第一の防空都市だけあつた、最も熱のなかつたのは一、二丁目目のやうで何處風吹くかと云つた無關心な態度は更めてほしい

警防團員
集合良好

一方警防團員は四時卅分に集狀を發した處、本部消防部員中には三分にして馳けつけた者あり、消防部員は殆んど五分內外で集合、其の他各部共二十分位にして所定の人員全部集合招集は良好な成績を收めた、今次の無警告演習に依つて今後何處の國と開戰しても平市の防空陣は概して良好で今後に備へる確心を得た、今後も斯うした無警告の演習を行つて市民の心構へを作る考へであるから何れも治にゐて乱を忘れぬ用意が希ましい

農繁考慮
平窪除外
增產に特例設く

平窪第三分團は目下田植農繁期に當つてゐるため特に演習から除外『空襲警報發せられても出動する要無し』と事前に通牒を發し參加を見合せた

四倉警防團
規律訓鍊

四倉警防團では今二十六日の記念日を期し午前三時警鐘を亂打して團員全部の非常招集を行つたが團員中二分間で署前に集合した者を初め八分間內に全員二百三十余名が整列好成績を收め金成團長指揮の下に諏訪神社に參拜し無火災祈願、武運長久祈願等をなし終つて國民學校庭に於て約三時間に亘り規律訓練を行ひ午前六時散會した

麥收穫豫想
石城、平は增產

本年度麥收穫第一回豫想高は縣から發表されたが全縣下の數量五十萬五千九百三十五石で前年に比較すると四千六百石の減收となるが石城郡及平市の收穫數量は大麥、裸麥、小麥を通じ何れも增收となつた

	豫想收穫高	前年比較
【大麥】		
平	一、六〇	三七
石城	四八、八〇	二、三六八
【裸麥】		
平	―	―
石城	六	〇、五〇
【小麥】		
平	七三	二〇三
石城	一五、三三	二八五

人道擴張と美化
大田町側溝と暗渠漸やく起工

平市停車場通り大田町の兩側溝を暗渠にし人道擴張工事は、資材入手難の關係から前年起工出來ず本年へ繰越されてゐたが漸やく鐵筋材も入つたので廿四日愈々着工七月末日までに完成せしむる豫定の下に工を急いでゐる

工費は千百四十六圓（內受益者負擔三百四十三圓）延長は銀座通りから馬目酒屋まで百八十米（兩側）この側溝暗渠が完成すると人道が約二米擴張され、通學生のラッシュには交通困難を極めてゐるのが緩和される外、ドブがふさがれる上、橋の上に擱かれた塵芥箱も取除かれることになり街路の美觀や衛生的にも一石三鳥の道路工事である

小名隣組
共同田植
明年は全町普及

既報小名濱町芳川町內會第二隣組では共同田植を試み遺家族及び出征軍人留守宅を優先的に施行し出動人員四十二名八日間豫定の處を七日間で全隣組の田植を完了した、この成績に鑑み明年度は全町一齊に共同作業を開始する計畫を赤津町技手は言明してゐる

前線慰問通信
★☆★☆★【29】☆★☆★☆★

「黃鶴山」附近跋涉し
文化の跡見る
宜昌戰線よりの歸途

縣議　木村守江氏

五月廿八日午前九軍司令部に挨拶に行き閣下よりの命令により海軍航空隊を慰問す日產の片寄忠衛君が自動車を用意してくれたので福島市出身の三浦海軍少佐を訪問す、極めて信實な態度で鄕土部隊は全軍の信賴の的となつてゐる。この事變はあと幾年かゝるかわからぬ。戰果を收め得るのは何時かも分らない。國民相互が捨石となる覺悟がなければならぬ、こんな時に自分の事を考へてはならぬ、鄕土部隊はいつでも第一線のひどい村落にばかりやられてゐる、事變以來一度も漢口のやうな大都市にゐたことはない。然し斯樣なところにやられる部隊が一番強い一番頼りになるものであることを考へた時又滿足せねばならぬなど何だか自分の考へてゐたことを次から次と言はれたので本當に感銘した、相互に捨石になつて國を守らねばならぬ、國民の一人も自分のことを考へてゐる時ではない。特に前線の將兵の日夜の辛苦を目擊した時にこの感を深くした

色々有益な話を終ると間もなく自ら自動車を運轉して飛行場を案內して飛行機を說明してくれた、作戰中で鄕土の兵隊には會へなかつたが極めて有益な半日を送り自動車で送られ途中極めて宏大な中山公園に立寄り夕刻宿に歸る、

五月廿九日晴天、午前八時三十分兵站に高橋中尉を訪問乘船に關する指示を得九時の渡船で武昌に至る。船は漢水の揚子江に入る點から漢陽の市街を一目に眺め武昌に向ふ、漢陽には歸山（一名大別山）あり有名な歸元寺の屋根が見える、この地は製鐵所があつたので有名であるが、支那兵の敗走する際に全部破壞してしまつたので使用に耐へるものは一つもなく只數十本の大きな煙突が列んで昔を偲ばせるのみである、船は約三十分の後一五〇〇米位を遡行して黃鶴樓の下に着く、自動車の時間迄一時間あるといふのでこの地で有名な黃鶴山に登る案內者はこの地に馴れた〇〇少尉である、黃鶴山は一名蛇山とも言つて蛇のやうに小高い丘が二里も武昌の町の中央を走つてゐる、この山の揚子江に面した所で昔辛と云ふ人が酒店を營んでゐると道子がやつて來て酒を呑んだが金を取らうともせぬ又數年過ぎて再び道子は此の地に遊び酒を呑んだが又前の金どころか今度の金も取らうともせぬ勿論催促などする樣子もない。すつかり氣持をよくした道子は御禮として辛の爲めに鶴の繪を畫いた所がその鶴は澤山の鶴を呼び或は啼き或は飛んだといふ、この爲めにこの地が有名になり來り遊ぶ者酒を呑むものが多くなり店は大變繁昌したので辛は樓を建て道子を迎へた、これが黃鶴樓である、今は昔日の建物は朽ち果て練瓦造に替へられて趣味を減殺してゐる、この地には外に見べきものが多い、すぐ後方に禹碑亭がある湧月台の直ぐ傍らにあり禹時代の石刻が澤山集められ古代文學が見られる、考古學上亦重要なものである、その奥に奥略樓がある、これが最近黃鶴樓と間違らる樓であるがこれは歴史的にこれ程有名なものではないその後方に民國廿五年即ち事變の起る前の年に完成したといはれる張公司がある此れは淸朝時代の湖北省總督であり名督長として省民から慈父の如く親はれた人で姓を張之洞と稱し文襄と號した大の慕日家であつた、この人が有名な長江堤を造つた人である、あの揚子江の長さ五千五百浬といはれるが漢口附近の如く數十里の間立派な堤防を造つて人民を水害より救つてゐるところはない。今の漢口の市長はこの人の息子であるその側方に呂祖閣がある是は隋末から唐初にかけて黃巢長江を根據として反旗を掲げ天下麻の如く亂れたる當時呂祖師即ち呂洞ビ日夜修道して仙人となり是地を道場として子弟の教養に務めたといふ所で今は色々お佛像背書が澤山集められてある、番人が居て石刷を賣つてゐる、

その中トラックの時間が來たといふので見るべきものを澤山殘し國立武漢大學に向つた概して武昌は政治の地であり學問の地であり漢口は商業地である爲めに自ら趣を異にしてゐる、靜かな落着のある市街を約二里程走つて武漢大學に至る、まだ綜合大學としては完成してゐなかつたが法、文、工、理科などは既に出來あがり醫科と農科を增設中に事變が起つたとのことである。

賴山陽
名詩一幅寄贈

小名濱町本町齒科醫鈴木正氏は賴山陽先生の眞筆〃鞭聲肅々〃の名詩一幅を本町第二國民學校に寄附したが學校では本人の希望で階上應接室に掲げる事になつた

自衛團査閲　磐城セメント四倉工業所の自衛團査閲は二十九日午前九時より同所グランドで擧行するが査閲官は佐藤警防課長である

感激の貯蓄組合
古鍛冶隣組嬉しい發足

平市第二區（古鍛冶）第十二隣組常會はこの程栗原氏宅に開催、市から柳沼翼贊會主任書記が出席、目下實施中にある貯蓄強調週間なので特に柳沼氏から貯蓄の必要性を述べた處組員の好間軌道會社々長大平新吉氏が柳沼氏の說明に感激、その翌日隣組長豬狩荒家氏に『今更貯蓄の必要をつく〴〵身に泌みた次第です、この隣組には未だ貯蓄組合が結成されてゐませんから私が皆さんの分まで毎月三十圓宛隣組名儀で千圓まで繼續貯金したいと思ひます』と五月分三十圓を隣組長に差出したので組長も感謝、これを受取ると共に同氏を中心とする同隣組三十戶を一丸とした貯蓄組合結成に邁進すると共に組員も諸橋氏に習ひ十錢、廿錢……と無理しない健全な貯蓄方法を申合せたが近く感激のうちに貯蓄組合を結成するとになつたが貯蓄強調週間中だけに各方面を喜ばしてゐる

全市民勤勞慰安の
歌謠と舞踊の夕
會場屋外へも擴聲器据ゑる

（既報）コロンビア流行歌手伊藤久男氏を迎へ二十八日午後六時半から平市公會堂に開催する市主催縣並に仙台鑛山監督局後援常磐石炭鑛業會協賛市民勤勞慰安の夕『山の凱歌』『黑き寶』發表會は次のプログラムで開催するが當日は無料公開で炭礦方面からも相當人出が豫想されるので會場から溢れた人々のため公會堂の外に擴聲器をつけ屋外でも聽かせる豫定である

△宮城遙拜△出征將士武運長久祈願並に戰歿將士英靈に對し默禱△青沼市長挨拶△山田仙台鑛山監督局長挨拶

【第一部】△石炭增產の歌發表、山の凱歌（伊藤久男）黑き寶（奈良光枝、栗山なほ子）－コロムビア輕音樂團伴奏△山の凱歌々唱指導（伊藤久男）△舞踊、山の凱歌（花柳八尋）

【第二部】△オーケストラ演奏△獨唱、栗山なほ子（空の船長、さうだその意氣）奈良光枝（起てよ女性、仰げ軍功）伊藤久男（曉に祈る、赤子の歌）△舞踊「五郎」花柳八尋△オーケストラ演奏△歌謠曲、栗山なほ子（悲しきロケット、白蓮のかをり）奈良光枝（支那の夜、なつかしの歌聲）伊藤久男（蛇姬樣、建設の歌）△合唱「山の凱歌」△映畫「採炭戰士」

警防記念日
小名濱の催し

警防記念日の今二十六日午前八時小名濱町では諏訪神社に團員集合無火災祈願をこめ、終つて幹部は打揃つて淨水場消火栓の見學團員は防火器具の手入をなした

漁船保險組合
貯蓄債券廿本提供

本縣漁船保險組合では二十二日小名濱海洋青年學校に於て通常總代會を開き、漁船保險一般加入奬勵の爲め全契約者に對し五千圓割增金付き貯蓄債券五圓券二十本を抽籤で提供する事になり左の幸運者が當選したが、重ねて五千圓の割增金も待つて居る事で好評を博してゐる

吉田厚、吉田貞吉、小松才次郎、白土覺治、鈴木章三、坂本喜代松、渡邊幸敏、城十郎、高津重次、鈴木喜八、片石又治、櫻井今朝十、柴野某、庄司慶太郎、今野某、渡邊熊太郎、小野竹次郎、小松金十郎、荒川要助、永澤伊助

田町區民の
運動會
新舞子で行ふ

平市田町區內常會は昨廿五日開き、同町青壯年隊の要望を容れ商店公休日と日曜日に當る來月廿日を利用し田町全區民の運動會を仁井田浦新舞子で行ふことに決定した

第二區常會

平市第二區（古鍛冶町研町）では二十九日午後七時から研町天理敎支部に常會を開くが約五百名參集の豫定で例により貯蓄講演、紙芝居がある

農繁期の
託兒所
良好な成績收む

小名濱町では農繁期の六月十五日より二十四日迄託兒所を開設し銃後增產に協力したが一般農家も、この趣旨に賛同し一日平均八十名の託兒があり好成績を納めたが町經費は大凡三百圓を要し託兒の健康狀態は頗る良好で入所當時より平均体重に於て二三百匁の增加を見、規則正しき生活の身体に及ぼす影響を託兒者に痛感させた

松田賢雄氏
勸業主任今曉急逝

平市產業課勸業主任松田賢雄氏は急逝盲腸炎を病み田町市原醫院で手術を受けたが手遲れとなり今廿六日午前五時頃死去した、享年五十九才、葬儀は廿八日午後三時自宅で告別式を執行する

同氏は茨城縣太田村出身で永く北米の日本人會に勤め、歸朝後鮫川水電から昭和三年市役所へ入り十三年間勤續してゐる

長男の浩一君は目下北支〇〇の前線で戰鬪に參加中で急逝を惜しまれてゐる

防空演習の
獲物
七犯の强者捕る

演習空襲警報中の獲物……今二十六日午前六時頃折柄の演習空襲警報中平市內を徘徊する男を菊地探偵長、笠原刑事が擧動不審で檢擧取調の結果右は栃木縣芳賀郡逆川村字小貫前科七犯岡部勘一郎（四〇）で同人は去る二月十一日七年の刑を終へ栃木刑務所を出獄、その後茨城縣水戶市を中心に竊盜を働き二十三日夜湯本町に流れ込んで同町を荒し廻り洋品類、時計、手さげ金庫などを竊取

傳染病注意
チブス季節來る

平市の隔離病舍は鹿島村からの依託患者を併せ僅かに二名となつたが昨今夏井村に腸チブスが猖獗し患者九名も發生してゐるので特に傳染病に注意するやう市衛生課では望んでゐるが昨年六月中の市內傳染病者は△チブス八名△赤痢四名△疫痢一名△猩紅熱七名△ジフテリア三名計二十五名も出してゐる

濱三郡
校長會議

既報、平市並に石城、双葉、相馬の濱三郡下國民學長會議は關係者約百十名が參集、二十八日午前九時から平第三國民學校講堂に開催縣から神內學務部長、大村敎育課長、視學等が臨席、縣の指示事項注意事項に付いて協議する

度量衡違反
四倉で四名科料

四倉警察署では去る二十二日より二十七日まで五日に亘りて度量衡檢査特別執行を行なつた結果同町字新町雜貨商水戶屋コト原田信松外三名は度量衡取締規則違反として何れも科料に處せられた

納稅表彰　小名濱町では來る二十八日優良納稅組合の表彰式を擧行するが當日平稅務署長より優良納稅組合長として五ヶ年勤續の表彰を受ける人は左の通りである

川俣喜七、小野定太郎、松本房之助の三氏

映畫界

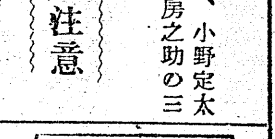
平館（二十六日ヨリ二十七日迄）◎松竹映畫、花柳章太郎主演「殘菊物語」◎松竹映畫、水戶光子主演「狐」（二十八日ヨリ三十日迄）◎松竹映畫「愛の暴風」◎日活映畫杉狂兒主演「暢氣眼鏡」◎文化映畫（一日ヨリ二日迄）◎松竹映畫「愛染かつら」

聚樂館　◎ユナイテツト特作ドロシイ・ラムーア・ジョンホール主演「颱風」◎東寶映畫長谷川一男、岡讓二、霧立のぼる主演「御存じ東男」◎文化映畫◎ニュース

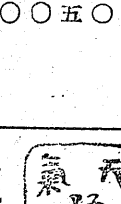
土木建築
鐵道
船舶仲仕
三崎組

太田勝康
事務所 小名濱町日素前
電話五〇番

商況
（二十六日）



	高	安
【野菜】		
筍	八〇	
大根	三五	
ニラ	九〇	
ホレン草	五〇	
人參	六〇	
馬鈴薯	四五	
玉菜	三〇	
サヤ豆	九〇	
ナダ豆	九〇	
キウリ	一六	
【鮮魚】		
サバ		一四、〇
ブリ		三二、〇
スズキ		六〇、〇
平目		六〇、〇
小鯛		九〇、〇
アイナメ		四〇、〇
ツマダイ		二四、〇
アジ		二二、五
アソビ		六三、〇
貝燒一個		三十錢



今晚　南の風小雨後曇り模樣
明日　南の風雨が降つたりやんだり

（二十七日）
滿潮　前四、四〇　後七、〇五
干潮　前〇、一五　午〇、一五

おちの良い マルミ石鹸

山村暮鳥の夕

日時　六月廿八日午後七時
場所　マルトモホール
會費　五十錢（茶菓代）
申込　磐城每日新聞社內
文協會員外一般の參加を歡迎致します
主催　磐城文化協會

松田賢雄儀病氣ノ處養生不相叶六月二十六日午前五時死去仕候間生前ノ御厚誼ヲ拜謝シ此段謹告仕候

追而來ル六月廿八日午後三時自宅ニ於テ告別式相營ミ可申候
尙時局柄御供物ノ儀ハ固ク御辭退申上候

昭和十六年六月廿六日
福島縣平市字田町一〇三番地
妻　松田こと
男　松田浩一
外　親戚一同

事變紀念　前線慰問號發行

今次事變四週年記念日を迎へ本社は鄕土平市出身の前線勇士を慰問し勞苦に報ゆるため、七月七日（八日附）事變記念號を發行、鄕土の將兵へ漏れ無く贈呈することになりました。全市民の御支援を切にお希ひ申上げ次の懸賞原稿を募集致します。

懸賞原稿募集

短歌　新妻久滿夫選
『題』事變にちなんだもの
俳句　渡邊何鳴選
『題』同
兒童作文　本社文藝部選

投稿規定

〆切　七月三日までに本社到着
入賞　短歌と俳句共天地人三篇入選、兒童作文は學年別に各一篇宛入選
發表　七月八日附記念號紙上
原稿は短歌、俳句はハガキ一枚に三種限りとし何枚應募するも可、兒童作文は一篇二十字詰二十行の原稿用紙一枚迄

磐城每日新聞社